

報道資料 2019.3.25

国内外で話題のパペット・アニメ『マイリトルゴート』劇場公開決定

見里朝希監督がグリム童話『オオカミと7匹の子ヤギ』を題材に、児童虐待などの社会問題を織り込んだ話題作『マイリトルゴート』の国内の劇場公開が決定しました。



(C) 2018 Tomoki MISATO / Tokyo University of the Arts

同作は見里監督が東京芸術大学大学院アニメーション科の卒業制作として1年がかりで完成させたフェルト人形アニメーション作品で、第24回学生 CG コンテストでアート部門、エンタテインメント部門最終週賞ダブル受賞をはじめ、国内外で数多くの賞を受賞しています。

今回の上映は4月から公開のパペット・アニメ『ホフマニアダ ホフマンの物語』とのカップリング上映となります。『ホフマニアダ ホフマンの物語』は初期チェブラーシカの制作で知られるモスクワのソユーズムリ・スタジオが15年の歳月をかけて完成させた作品で、『くるみ割り人形』の原作者 E.T.A.ホフマンの青春時代を彼の代表作の登場人物たちが大活躍するファンタジーで、『マイリトルゴート』とのカップリング上映は日露の最新パペット・アニメをまとめてチャックできるまたとない上映企画となりました。

『マイトルゴート』 作品情報 (2018年/日本/日本語/11分)

監督・アニメーション 見里朝希

作家 SNS @Mitotoki

『マイトルゴート』予告編 vimeo.com/user19185087

『マイトルゴート』 受賞歴

「新千歳空港国際アニメーション映画祭」審査員特別賞

「DigiCon6 JAPAN」(主催 TBS)金賞

「第24回学生CGコンテスト」史上初のアート部門/エンタテインメント部門ダブル受賞

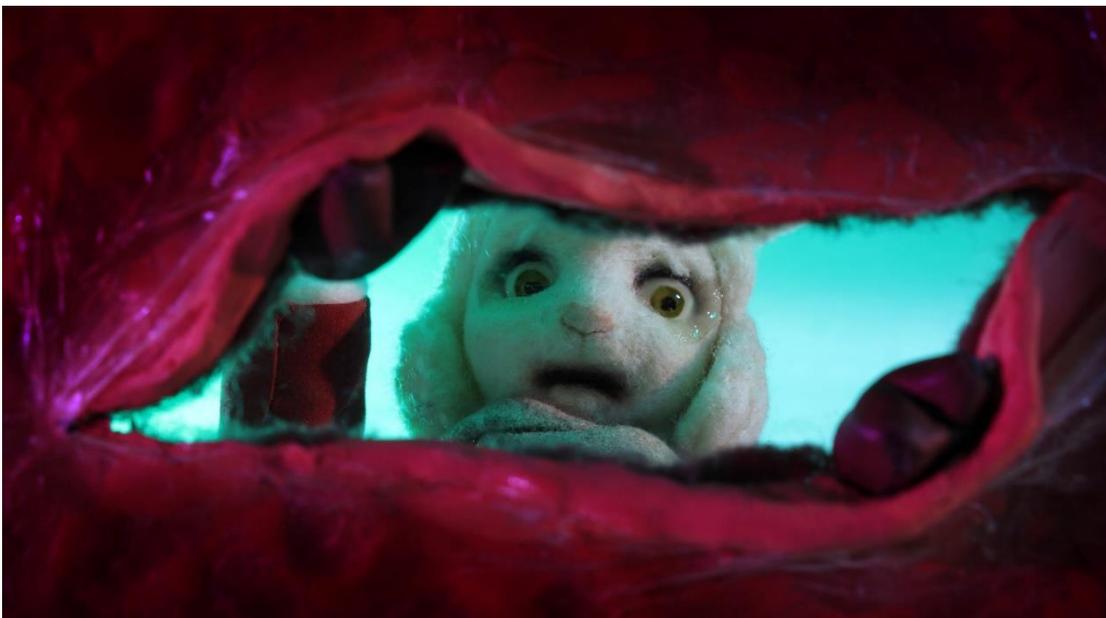
「StopTrik IFF 2018」「International Stop Motion Competition」グランプリ

韓国「Indie-Anifest 2018」(観客賞)

イタリア「ASFF As Film Festival 2018」Best Animation Short と Idea Academy 賞

あらすじ

「マイトルゴート(My Little Goat)」は、狼に食われかけたところを母ヤギに助けられたヤギの子供たちが暮らす家に、1匹だけ消化されて見つけれなかった子ヤギの代わりとして、母ヤギによって人間の少年が連れてこられる。家の中で少年は、狼の胃袋の中で消化され、体毛がはげ、皮膚も焼かれた子ヤギたちの姿を見る事になるが……



(C) 2018 Tomoki MISATO / Tokyo University of the Arts



(2018年/ロシア/ロシア語/72分)

(c)Soyuzmultfilm

公式HP: www.hoffmaniada.net

公式ツイッター @hoffmaniada

写真素材 <http://30d.jp/hoffmaniada/1>

合言葉 hoffmaniada

公開スケジュール

4月2日(火)より26日(金)まで

東京都写真美術館ホール 03-3280-0099

期間中 11:00・16:00・18:30

料金 当日 一般1,800円 学生1,500円 シニア1,000円 (税込み)

以降巡回を予定

問い合わせ

株式会社リスキット info@riskit.jp

070-4280-6282